

# プラント状況確認結果(平成26年1月28日～2月4日)

平成26年 2月 4日  
福島県原子力安全対策課

○ 平成26年1月28日～2月4日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ この期間において、不具合等の連絡はありませんでした。

**また、平成25年11月18日15時18分、4号機使用済燃料プールからの燃料取出し作業が開始しました。詳細は[こちら](#)をご覧ください**

## (1) プラント状況 (2月4日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 <sup>※2</sup>
原子炉 <sup>※1</sup> (核燃料)	冷却	注水量 (m <sup>3</sup> /h)	4.5	4.5	5.4	—
		压力容器 下部温度(°C)	<a href="#">16.4</a>	<a href="#">25.8</a>	<a href="#">22.2</a>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 <sup>※3</sup> (Bq/cm <sup>3</sup> ) (A系)	1.30×10 <sup>-3</sup>	検出限界未満	検出限界未満	—
压力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系) (体積%)	0.05	0.07	0.09	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	14.0	13.5	12.3	17.9

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm<sup>3</sup>以下である。

## (2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果 (2月4日午前10時)

最小 2.5 (MP-6) ～ 最大 5.1 (MP-3) マイクロシーベルト/時 → [計測地点の地図](#)

## (3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果 (2月3日採取分)

最小 検出限界未満(港湾口、6号機取水口前) ～ 最大 67(3号機スクリーン(シルトフェンス内側)) Bq/ℓ

## (4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果 (2月3日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 検出限界未満

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界未満 ※検出限界値は約0.59 Bq/ℓ

## (5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果 (2月3日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約2×10<sup>-7</sup> Bq/cm<sup>3</sup>

## (6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果 (2月3日採取分)

最小 検出限界未満(3,4号機) ～ 最大 0.61(2号機) Bq/cm<sup>3</sup> ※検出限界値は約0.02 Bq/cm<sup>3</sup>

### 【参考事項】

1月31日 海側遮水壁工事(港湾内)における遮水壁内側の埋め立てにより、1号機スクリーン室前面

に設置したシルトフェンスを撤去した。

(問い合わせ 024-521-1917)